

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	三島市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画）
②都道府県名	静岡県
③計画作成主体	三島市
④計画期間	平成 22 年度 ～ 27 年度
⑤計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりとやすらぎのある住まいの実現（地域住宅計画） ・災害に強く、安全で快適な住まいと住環境の実現（地域住宅計画） ・高齢社会対応の安心な住まいと居住支援環境の実現（地域住宅計画） ・環境にやさしく魅力ある住まいと住宅地の実現（地域住宅計画）
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	三島市において評価を実施
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「最低居住面積水準未満率の減少」 定 義：（最低居住面積水準未満率）＝（最低居住面積水準未満世帯）／（全世帯）（％） 評価方法：住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出 結 果：従前値：5.7％（H21 年度）⇒目標値：2.9％（H27 年度） ⇒実績値：6.6％（H25 年度） 結果の分析：市営住宅の既存ストックの整備により一部は改善されたが、民間住宅において、世帯数の増加などの要因もあり、目標に届かなかった。</p> <p>指標②：「子育て世帯の誘導居住面積水準達成率の向上」 定 義：（子育て世帯（家計を主に支える者の年齢が 25-44 歳の世帯）の誘導居住面積水準達成率）＝（子育て世帯のうち、誘導居住面積水準以上世帯）／（子育て世帯）（％） 評価方法：住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出 結 果：従前値：51.0％（H21 年度）⇒目標値：53.0％（H27 年度） ⇒実績値：43.0％（H25 年度） 結果の分析：H25 住宅・土地統計調査によると、従前値を下回る結果となり、目標を達成できなかった。子育て世帯を家計を主に支える者は 25-44 歳としているが、近年の傾向で単身者の増加や若年層の低所得化が要因と考える。</p>
⑧結果の公表方法	ホームページ
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<p>今回の事業評価の結果を踏まえ、次期社会資本総合整備計画において目標を達成できるよう、事業を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 次期社会資本整備計画 三島市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画） 2) 計画期間 H28～H32 年度 3) 目標 <ol style="list-style-type: none"> ① 最低居住面積水準未満率の減少 ② 子育て世帯の誘導居住面積水準達成率の向上 ③ 戸建て空き家総数に対する既存住宅診断（インスペクション）実施した中古住宅の割合の増加 ④ 不良住宅に該当する空き家の割合の低下 ⑤ 三島市における住宅の耐震化率の向上 ⑥ 三島市における狭あい道路の解消率の向上
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。